

平成23年3月31日

松戸市長 本郷谷 健次 様

平成22年度 松戸市次世代育成支援行動計画のより良い推進に向けた提言

松戸市次世代育成支援行動計画推進委員会  
委員長 斉藤 進

以下、本文

私たち松戸市次世代育成支援行動計画推進委員会では、平成 22 年度の市民アンケート調査の結果並びに事業の実施状況の報告に基づき、計画の推進状況を評価し、「推進委員会からの提言」を以下の通りまとめました。

「常に子ども本位」という計画理念を尊重し、今後も積極的に計画を推進していくために、本提言を活用いただくようお願い致します。

## 1. 事業推進にあたって

- 事業の推進にあたっては、利用者のニーズや事業経費、他市の状況等を総合的に勘案しながら、費用対効果の観点を持って事業を推進してほしい。
- 全ての事業において、今後も「本当に子どものためになるか」ということを第一に考えて事業を実施してほしい。
- 市民アンケートについては今後も実施を継続してほしい。特に放課後児童クラブ事業について適切な評価を下し、結果を広く公表しながら事業の質を向上させていくことが重要である。

## 2. 新たな施策について

- 保護者がそれぞれの状況に合わせて支援を適切に選択できるような仕組みづくりを進めてほしい。
- 多様な働き方が共存できる社会づくりが必要である。
- 公園が親子のために活用できる仕組みを検討してほしい。
- 幼児の教育について、支援や振興策などを検討してほしい。